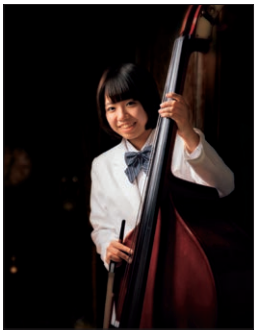
FUJIFILM
Value from Innovation

2019 富士フイルム 営業写真コンテスト作品集



アルバム

◆2019富士フイルム営業写真コンテスト入賞作品集をお届けします。このコンテストも今回で56回目を迎えますが、ここ数年の営業写真の趨勢をみると、これまでの「格調高く、品良く」という、伝統と高い技術に裏打ちされた営業写真のほかに、シチュエーションを活用した、いわゆる情報量の多い写真もニーズの高まりが見られます。この点では従来の格調高い営業写真の研鑽のほかに、その技術をベースに時代のニーズに合わせた幅広い表現力も求められるようになってきました。

幅広い表現力が求められる時代に……

◆現実に、当コンテストにもロケーションをはじめとして、これまでに見られなかった斬新な写真の応募が多くなってきています。

◆これを踏まえ、当コンテストは、営業写真の幅を拡げることを念頭に置き、新しい写真の応募も期待いたしますので、どしどしご応募ください。

◆さて、今回の応募総数は9,188点、応募者数2,851名という結果になりました。

◆今回の審査で、審査員の方から次のようなご指摘を受けていますので、列挙してみます。

●今回の作品の傾向を見てみると、全体的にプリント品質は向上している。撮影手法も年々変わってきて、お客様のニーズに対応し新しい表現に挑戦している写真が多く見られた。

●子供写真ではニューボーンフォトが増えているが、安易に取り組むと赤ちゃんを危険にさらすことにもなりかねないので、しっかりと勉強してほしい。

●ここ数年の傾向だがピント不良の作品が多く見られた。表情、構図、ライティングも良いのだが、ピント不良のために審査から落ちた写真も多いので、気をつけてほしい。

●カメラセンサーと六切プリントのアスペクト比の違いのために天地バランスの悪い作品が散見された。

●七五三は優れた作品が少なかったように思えた。売上げの主軸なのでもう少し力を入れてほしい。

●婚礼・成人ロケーションでは、営業写真というよりはコマーシャルフォトのイメージでの表現が多く、お洒落なのだが、幸せ感がにじみ出ている写真は少なかったように感じる。

●子供写真で、縁の太いロイドメガネを故意に掛けさせている写真が多く見られた。アクセントとしては良いかも知れないが、演出しすぎの感が残る。

●トリミング、フレーミングをせず、撮りっぱなしの写真が多かった。プロの写真である以上、しっかりしてほしい。

●写真集・アルバムについては全体的にストーリー性に乏しく、目に付いた作品は少なかった。

●ロケーションの雪や雨の表現で、画像処理をし過ぎている写真が目立った。自然さを損なわない処理をしてほしい。

●マタニティーでは普段着で撮っているものやシルエットで撮っている、またはモノトーンの表現など、好感が持てる写真が多かった。

——以上の良い点、改善点を考慮していただき、次回もまた意欲あふれる作品を期待します。

作品集への掲載順は賞の順、写真館様所在地の北から順、同一都道府県内は郵便番号順で掲載しています。一部、レイアウトの都合上、順番の入れ替わりがあります。

CONTENTS

2019富士フイルム営業写真コンテスト作品集

2019富士フイルム営業写真コンテスト入賞発表

●金賞 …… 1
●銀賞 …… 2
●銅賞 …… 7
●審査員特別賞 …… 17
●優秀賞 …… 18
●テーマ賞 …… 22
（大人ポートレート写真）
●テーマ賞 …… 26
（家族写真）
●テーマ賞 …… 30
（子供写真）
●テーマ賞 …… 34
（入卒園・入卒学・七五三写真）
●テーマ賞 …… 38
（成人式・婚礼写真）
●テーマ賞 …… 42
（ロケーション・スナップ）
■金賞作家を訪ねて …… 46
■INFORMATION
富士フイルム営業写真コンテスト
表彰式開催 …… 48

金賞

「インスタ映え」　川又康徳　㈱小貫写真館 PASEO NUEVO 水戸店（茨城）

データ：デジタル一眼レフ　70～200mm　F3.2　1/200　自然光

■選評

楽しく、若さあふれる写真で、随所にプロならではの技術力の高さが感じられる秀逸な作品です。その技術の１つが、バランスの良さであり、これだけ自由に動かしている中で、計算しながら「まとまり」を演出しています。足元を斜め一直線に揃えながら、自由に楽しくポージングさせ、それをスクエアサイズにして全員の輪、一体感を強調しています。また、これだけ奥行き感があっても、ライティングは破綻なくしっかりと全員に綺麗に光が当たり、さらにレンズの焦点距離、絞りなどもあらかじめ計算して撮っていて、そうした事前の準備がしっかりしていることを感じさせます。「インスタ映え」のタイトル通り、今の時代を感じさせる優れた作品です。

■喜びの声

金賞ありがとうございます。若輩者の私でもこの素晴らしい賞をいただけたことに感動です。まずは、小貫写真館を選んでくださるお客様に感謝します。そして、代表をはじめ私が撮影する環境を作ってくれるスタッフの皆様、日々支えてくれている家族に感謝の想いです。振り返れば2015年「フロンティア賞」をいただいてから、これまでも入賞を目標に応募はしていましたが、力及ばず選ばれることはありませんでした。昨年も小貫写真館からは４名入賞者が出ましたが、私の名前はありませんでした。共に働く仲間の入賞に本来なら喜ばなくてはならないところですが、私は情けなさと悔しさで複雑な気持ちでした。その悔しさを糧に写真に取り組んだ結果、出来すぎなぐらい良い報告をいただき、とてもうれしいです。写真のお客様は幼稚園からずっと一緒の友人同士、30歳の記念で撮影に来館いただきました。さすが長い付合いだけあって息ぴったり！お互いのことを理解しているようなポジショニングにびっくりしました。撮影中はとにかく「楽しい時間」になるよう心がけました。皆様想像以上にノリノリで撮影に向き合ってくれたこと、素敵な笑顔になってくれたこと、何より人生の節目に写真館で写真を撮ろうと思ってくれた気持ちに感謝しています。まだまだ未熟ではありますが、今後もお客様にご満足いただける撮影を目指して精進してまいります。このたびは、本当にありがとうございました。

（制作ラボ：㈱プロカラーラボ）

銀賞

「継承」　根本昌幸　㈱小貫写真館 PASEO NUEVO つくば店（茨城）

データ：デジタル一眼レフ　70～200mm　F8　1/125　ストロボ

■選評

お父さんの仕事に興味を持った表情と、それを優しく見守るお父さん。親子の情愛、対話が感じられる作品です。スタジオのなかに道具を持ち込んでの撮影ですが、背景・テーブルを黒にして、お父さんの帽子の上をカットしたトリミングなど、２人の表情と仕草に目が行くように誘導しています。お子さんの顔がしっかり見えながらもケーキが見えるカメラアングル、木ベラの高さと位置、絶妙なライトバランス、どれをとってもしっかりと計算された高い技量が感じられます。スタジオでのこうしたシチュエーションはあまり例がなく、これからのスタジオ写真の１つの方向性として考えていくべき写真の１つだといえます。

■喜びの声

このたびは栄誉ある銀賞をいただきありがとうございます。
「富士フイルム営業写真コンテスト」上位入賞は私の目標であり、素敵な写真を残したいと思うモチベーションのひとつでもあります。
今回の受賞は、たくさんのお客様、小貫代表をはじめ写真館スタッフのポージング・美容・受付の皆様、偉大な先輩・先生方、一緒に勉強した仲間たち、そして家族の支えがあってこそだと、決して自分ひとりではいただけなかったものだと感じています。
今後も何ごとに対しても謙虚に精進してまいります。
この写真は、ご主人のプロフィール撮影でご来館いただいたお客様でした。親子で１枚というお話になり撮影させていただきました。
撮影の際は、今回のタイトルでもある「継承」というイメージで、親から子へ受け継がれていく場面が表現できたらと考えていました。
お２人の意識がどこに向かって、何で繋がっているのかを意識して構図・ライティングを作っていきました。
日頃私がスタジオで意識している「品と迫力」がこの１枚から伝わるとうれしいです。
これからも富士フイルム営業写真コンテストが、素敵な写真やカメラマンを生み、写真の技術・文化が受けつながれていくだろうなと思います。
本当にありがとうございました。
（制作ラボ：㈱プロカラーラボ）

銀賞

「江ノ電待ち」　伊東一平　伊東写真館（栃木）

データ：デジタル一眼レフ　70～200mm　F4　1/250　自然光

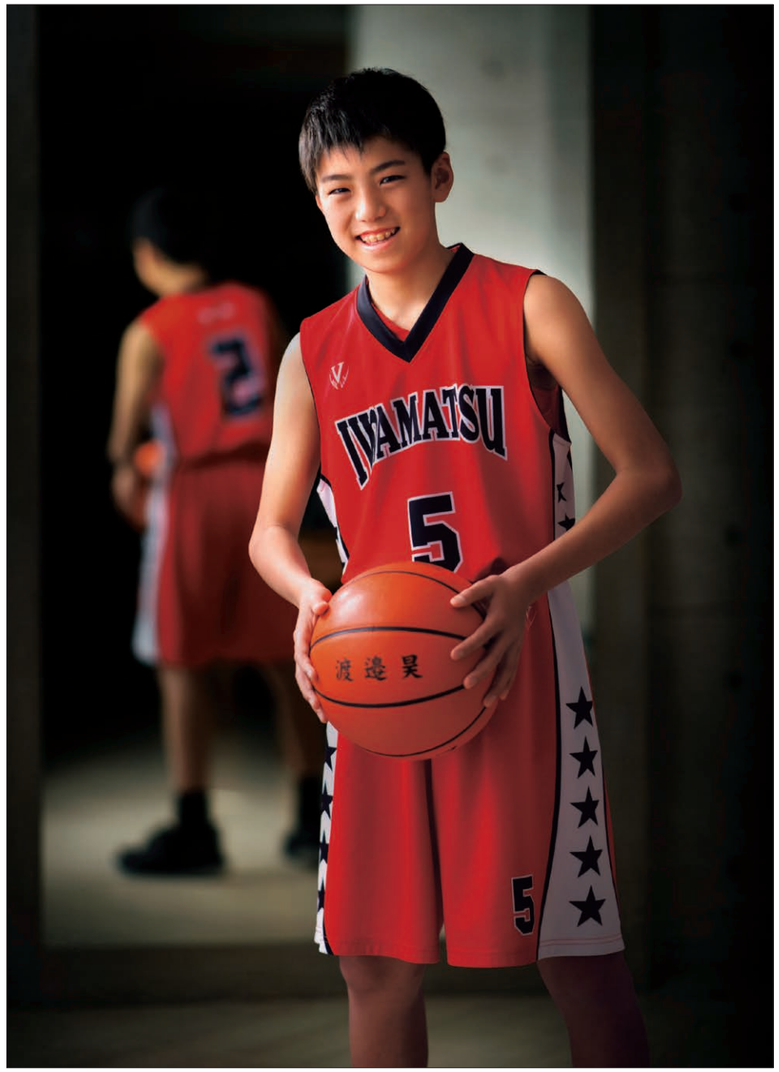
■選評

遠足の楽しさ、ワクワク感が表現された写真です。一般的な横並びの写真と違って、この写真には立体感が感じられます。天窓から入ってくる光がバックのブルーのポスターに当たり、上のシャドー部分とのメリハリ感があり、被写体との奥行き感が表現されています。「もうすぐ電車が入ってくる」という期待感とともに「あまり出過ぎてはいけない」という、左足に力が入った緊張感、波打つような構図も素晴らしく、グループが１つになった空気感や気持ちがそのまま描写されています。カメラマンがこの場所をあらかじめ知っていて撮っていると思わせるような、完成度の高い写真に仕上げられています。

■喜びの声

このたびは、素晴らしい賞をいただきまして誠にありがとうございます。
この富士フイルム営業写真コンテストで、スナップ写真が上位に選ばれるということは、初めてのことだとうかがいました。スナップ写真、特に学校写真に力を入れてきた写真館にとっては、大変名誉なことだと心からうれしく感じております。学校写真は、ポートレートやスポーツ写真、舞台写真、建築写真、風景写真そして報道写真などなど、さまざまのジャンルが含まれている幅も奥行きもある仕事です。そしてその中でも、スナップ写真は、一番重要な、写真の基本中の基本である！と思っています。スタジオ写真ほど高いお金をもらえるものではないかもしれませんが、スタジオ写真以上に、「次につながる」ジャンルです。
我々の業界には、学校の仕事をしている方が非常に多くいらっしゃいます。
にもかかわらず、このジャンルに関して、長い間、情報共有や勉強会等開催されることはほとんどありませんでした。
セミナー等で各地にお邪魔することが多いのですが、最近はとても素敵なスナップ写真を撮る若手の写真家が増えてきています。
ぜひ、これからもスナップ写真に注目をしていただけますよう、よろしくお願いいたします。でも次は営業写真で、このような賞をいただけるようガンバリます！笑
（制作ラボ：㈱サトック）

銀賞



「夢に向かって」　松山真彦　松山写真㈱（静岡）

データ：デジタル一眼レフ　105mm　F1.8　1/250　ストロボ

■選評

これまでの営業写真の技術、考え方を継承しながらも、感性とアイデアでそれを進化させた作品だといえます。鏡を使って七分身と全身を写し込む斬新な手法、そして表情も素晴らしく好感が持てる写真となっています。スポーツ系の写真は動きを要求する写真が多い中で、無理なポージングをすることなく極めて自然で、少しだけ傾いていることで躍動感を感じさせています。ライティングは少し硬めですが、それが男らしさを強調し、優しい表情の中にも力強さを感じさせます。また、肩の後ろに入っているバックグラウンドライトのような光、鏡に映った足元の光も効果的で、メリハリ・立体感が演出され、プロとしてのテクニックが活かされています。

■喜びの声

このたびは銀賞をいただき誠にありがとうございました。
昭和58年に父が当富士フイルム営業写真コンテストで金賞を受賞して以来、私にとって『富士フイルム営業写真コンテスト』は特別な思い入れのあるコンテストです。
これもお客様はじめ、日頃惜しみないご指導をしてくださる業界の先生方や先輩たち、共に学ぶ仲間、プロラボの担当者、スタッフや家族への感謝を忘れずにこれからも励んでいきたいと思います。
写真のお客様は、お宮参りから始まり人生の節目節目を当館で撮影いただいております。今回は小学校6年間夢中に取り組まれたバスケのユニフォームを着ての撮影です。写真館の雰囲気にも慣れており終始和やかな撮影となりました。中学生になっても新しく変わるユニフォームを着て思い出の1枚を積み重ねていってほしいものです。
今回の受賞はライティングを担当しました当社の若いスタッフにとっても、これから先も写真に携わる上で大きな自信になったことと思います。また、もうひとり入社7年目のスタッフも2年連続で入賞することができました。私も年齢では中堅の域に入りましたが、これからの写真業界を担う若い皆さんの真剣な取り組みに触れ、業界のけん引役となっていることを大変うれしく感じています。
新しい令和の時代が私たち写真業界にとって明るく希望ある時代となるよう皆で写真館を盛り上げていきましょう！（制作ラボ：㈱プロカラーラボ）

銀賞

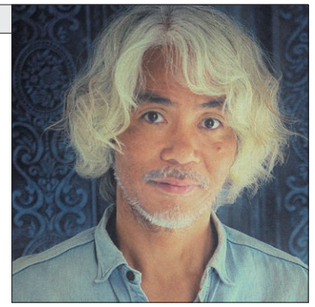
「青のマタニティー」　佐々木宏和　アトリエささき（愛知）

データ：デジタル一眼レフ　24～70mm　F2.8　1/160　ストロボ

■選評

「ブルー」をテーマに、優しい自然光の中に包まれている女性を描写した写真です。画面右側に光が強く入っていて、窓からの自然光をストロボで表現しようとしたと思いますが、それが成功し、聡明感あふれる光になっています。洋服とバックも同系色で統一され、その中で猫がきょとんとこっちを見ている表情、それを優しく見つめる女性とで優しさがあふれています。素足であることも、あたかも部屋の中にいることを連想させ、日常を切り取ったような自然な描写力にカメラマンの高い力量が感じられます。衣装とバック、猫、素足、色調、カラーハーモニー等、総合的に質の高い写真だといえます。

■喜びの声



「ブルーグレーで撮りたい」
お客様と猫の瞳を見たときのイメージでした。

被写体の魅力を見つけ、それを壊さないようにすることが僕の撮影の全てです。

「我が業は、我が成すにあらず。
我が業は、天の成す業」

お客様に巡り会えたこと。
お客様の魅力に委ねること。
天の采配に感謝し、作為がなく、媚がない。
そんな撮影をいつもしたいと思っています。

そんな風にして撮った写真に高い評価をしてくださり心から感謝申し上げます。

たくさんの先輩方のご指導のおかげでここまでやって来ることができました。
中でも福森さんとの出会いは僕の人生にとって、かけがえのないものでした。
自然の道理にかなった写真づくり、心に響く言葉はいつまでも僕の財産です。
そして福森塾の愛のある先輩や仲間たち。
どんな時も楽しくて、本当にありがとうございます。

最後に、勇気をくれる二人の息子たちと、側にいてくれる妻に
最大の感謝を込めて。
ありがとう。
（制作ラボ：オオタラボ）

銀賞

「マタニティ」　南谷大輔　㈲カトーフォトスタジオ（愛知）

データ：デジタル一眼レフ　24~70mm　F2.8　1/125　ストロボ

■選評

お洒落なマタニティー写真です。ファッションポートレート風に仕上げられたこの写真は、髪をかき上げながら優しくお腹を見つめる女性の表情と、ポージングも女性ならではの曲線を活かし、足も少し開き気味にして安定感を出し、お腹が大きく出ていなくてもマタニティーを感じさせる表現になっています。これをモノクロで仕上げたところに高い感性が感じられます。ややもするとマタニティーというのは生々しくなりがちですが、モノクロで表現することによりそれを感じさせず、自然に目に入ってきます。綺麗にマタニティーを撮るという手法の１つとして、モノクロは新しい提案になるかもしれません。

■喜びの声

このたびは名誉ある銀賞をいただき、誠にありがとうございます。
長年目標にしてきた、初めての上位入賞。発表の際に自分の名前を見つけたときは喜びと驚きでしばらく手が震えていました。
モデルさんは、中学時代のご友人３人が同時期に妊娠したことがきっかけでお越しいただきました。
お一人は可愛らしいイメージ。お一人は明るく笑顔が素敵な方。
そしてこちらのモデルさんはとてもスタイルが良く、カッコ良いイメージの方でした。
マタニティの神秘的な姿、女性らしい優しさの中にも母になる強さ、それを表現できればと思いました。
撮影中はお客様にブロワーを使っていただいたり、みんなでアイデアを出したり、同窓会の雰囲気のような、和気あいあいとても楽しく撮影できたことを覚えています。
今回受賞できましたのも、素晴らしいモデルさん、そしてご友人のご協力あってこそで大変感謝しています。
日頃より、写真だけではなく心技体、さまざまな面でご指導してくださる先生、諸先輩方、互いに切磋琢磨しあい常に刺激を与えてくれる友人。そして常に研究し、いつもお客様と上手くコミュニケーションをとり撮影しやすい空気感を作って助けてくれるスタッフ。
すべての方々に感謝しています。
≪努力に勝る天才なし≫、≪最後まで諦めずに全力を尽くすこと≫
との両親からの教えを忘れずに、これからも写真を通して一人でも多くの人に笑顔を届け、幸せを実感してもらいたいです。
そして「カメラマンになりたい」「写真業界で働きたい」そう思ってもらえる人を増やし、写真業界がこれからも発展していくよう微力ながら、努力していきたいと思います。
本当にありがとうございました！
（制作ラボ：富士フイルムイメージングシステムズ㈱）

銅賞

「さりちゃん」　福田鎌一郎　㈲福田写真館（北海道）

データ：デジタル一眼レフ　85mm　F2.8 1/2　1/60　ストロボ

■選評

ローキーな写真ですが、爽やかさや奥行き感を感じさせ、作者の巧みな技量を感じさせます。女性なので、一般的には柔らかい光とすべきところを敢えて強く当てていますが、これは恐らく一石二鳥を狙ったかと思われます。つまり、強くすることでこの女性の意志の強さを表現しながら、画面右側の背景に当たった光によりコントラバスを浮き立たせていて、それらを計算した上で撮影していると思われます。構図的にもコントラバスを斜めに持ちながら、女性の身体も斜めにしてＶ字の構成とし、そのバランスが絶妙だといえます。この構図と立ち位置の関係で自然に中央に目が行くように構成され、作者の上手さを感じます。

■喜びの声

ご両親のブライダルから百日記念、七五三、入学などなど・・・生まれる前からのお客様！ぱっちりとした目が印象的な、さりちゃん。
中学校三年間の想い出にエレキベースとコントラバスをもって来ていただいての撮影となりました。
ステキなご家族の中でいつもステキな笑顔、ベースもかっこよかったのですが、大きなコントラバスを奏でるさりちゃんの姿がとても印象的でした。
小さく可愛らしく、泣いたり笑ったり・・・そんな赤ちゃんがどんどん成長してそれぞれに輝いていく姿を思い、グラスの琥珀色がにじんで見えるこの頃、たくさんの「らしさ」を未来に残せるお手伝いができたらいいなと思っています。
一番の目標である富士フイルム営業写真コンテスト、業界紙や講演などでしかお目にかかれない凄い方々の祭典、帝国ホテルでの表彰式。
自分がそこにいるという夢のような時間、感謝感激です。
写真館という素晴らしい仕事ができる幸せ。いつも御指導いただいておりますサークル「風」の柴田昌勝代表、写真館のことを一から教えてくださった内田雅之先生、北海道営業写真家協会の伊豆倉淳代表をはじめ諸先輩、仲間、そしていつも支えてくれるスタッフや家族、お客様に心から感謝を申し上げます。
これからもこの賞に恥じないように、おごることなく一生懸命勉強していきたいと思います。
最後に素晴らしいコンテストを続けていただいている富士フイルムの皆様、本当にありがとうございます。また、帝国に来られるように頑張ります！
（制作ラボ：富士フイルムイメージングシステムズ㈱）

銅賞

「カフェにて」　和嶋智之　㈱ Satomi Noir 横浜ロイヤルパークホテル（神奈川）

データ：ミラーレス　58mm　F2.8　1/250　自然光

■選評

背景の本棚が女性を引き立てている、新しいタイプのポートレートだといえます。この写真は、プリントにディープマットを使用していますが、これはコントラストを強くしてレトロ感等を出すときに効果的な印画紙であり、作者はそうした自分の世界を作り上げようとしている意識が感じられます。背景の左上と右下の対角線がシャドーとなっていて、それが画面を引き締め、その背景を活かしながら絶妙な位置に座らせ、女性の表情と傾きでチャーミングさと知的な学生を演出しています。独特の世界観を作り上げようとするその挑戦が素晴らしいといえます。

■喜びの声

前回優秀賞を頂戴し、今回はまぐれではないことを証明したくて発奮しました（笑）
実は前回受賞後に転職をしまして、2つの写真館で賞をいただけたことも大変うれしく思っております。
応募は全て自分の好きな自然光撮影のみとしました。温かい木の感じと女性のニットの風合いがうまくマッチしたかなと思っております。久々のマニュアルフォーカスレンズで、ピント合わせに苦労しましたが（笑）
次回もまた、さらに上を目指せるよう、たくさん撮影の機会に携われるよう努力します。
最後に、この場をお借りして、関わってくださった全ての皆様へ御礼申し上げます。
ありがとうございました。
（制作ラボ：富士フイルムイメージングシステムズ㈱）

銅賞

「仲間」　相川 進　㈱ AIKAWA（神奈川）

データ：中判デジタルカメラ　80mm　F6.3　1/125　ストロボ

■選評

野球チームの写真ですが、こうした集合写真では、どう構成･配置していくか、またはどう表情を誘導していくかがポイントになります。立ち位置･身体の傾きということでは、中央のキャプテンを中心に左右それぞれ円状に配置してチームワーク感を演出しています。また、全員の表情に関しては、硬めの表情としたことで「かっこよく」というイメージがより強調されています。また、ライティングも、これだけ大勢の子供全員にしっかりと光が当てられており、適切なバックグラウンドライトと、足元のビネッター効果で子供たち全員を引き立たせています。計算された巧みさを感じさせます。

■喜びの声

このたびは栄誉ある富士フイルム営業写真コンテストの銅賞をいただき、誠にありがとうございます。悲願の初入選！連絡をいただいた時には思わずガッツポーズ！さらに、まさかの銅賞！次々とお祝いの電話やメッセージをいただき、たくさんの方々のおかげで入賞できたのだと感謝の気持ちが溢れてきました。
これもひとえに当スタジオをご利用くださるお客様をはじめ、丁寧にプリントを仕上げてくれるプロカラーラボの皆様、各業者様に感謝申し上げます。
写真のチームは「横浜金沢Ｖ・Lux」という普段は元気な笑顔の絶えない子供たちですが、いつもと少し違う「やるぞ！」の気持ちの一体感を意識して撮影しました。「カッコイイ！」と喜んでもらえました。受賞の連絡をすると、すぐにお祝いパーティーを開いてくれ、子供たちとの再会と受賞を喜び合いました。
最後になりましたが、修行時代よりずっと息子のように厳しくも温かくご指導いただき、たくさん遊び、たくさん仕事をし、かけがえのない経験をさせていただいた富山県の根岸眞一郎先生、眞二郎さんや根岸ファミリーには感謝しかありません。また風雲の会の柴田総長をはじめ、丸山先生、メンバーの皆様や多くの諸先輩の方々のご指導のおかげと心より感謝申し上げます。　共に頑張ってくれるスタッフ、見守ってくれた両親、支えてくれる家族みんなありがとう！　これからも良い写真、良い出会いを大切に、日々精進してまいります。
（制作ラボ：㈱プロカラーラボ）

銅賞

「まるやま先生」　滝澤一浩　タキザワ写真館（長野）

データ：ミラーレス　16～55mm　F2.8　1/80　ストロボ+自然光

■選評

ストロボの光量、教室から漏れる光、バックの窓の外光、バックのボケ味、それらをすべて考慮して、ライティング、シャッタースピード、光量を決めて撮影している技術力の高さを感じる作品です。こうした写真だと通常、背景の窓などが人物を邪魔するケースがありますが、この写真ではそれが全くなく、逆に効果的に立体感を醸し出しています。バックを活かすためにカメラポジションを高くし、バランスを考慮してバインダーを持たせ、さらに身体や顔を傾けていることで総合的に質の高い写真に仕上げられています。カメラマンとのコミュニケーションがしっかりとれているからこその表情も、この方の人柄を感じさせます。

■喜びの声

このたびは銅賞をいただき、誠にありがとうございます。
受賞の写真は卒業アルバム用の先生の個人写真であり、自分なりに学校の雰囲気、この先生の優しくも元気な人柄を出させていただけたらと思いシャッターを切ったのを覚えております。前から、この学校での個人写真を撮影するならここでと考えていた場所と、光もこもれ日がちょうどさし込んでいて、まさにグッドタイミングでした。また改めて撮影する前の準備（ロケハン等）も大事だと思いました。
お客様から必要とされる写真館としてスタジオ撮影を大切にしながら、外出しての撮影ももっと取り組んでいきたいと思っております。最後になりましたが、有賀長敏先生、小林正明先生、柴田昌勝先生をはじめサークル「風」の諸先輩、ご同輩、志高き友人、アートカラーラボの皆様、大事な家族、たくさんのご縁ある方々に感謝いたします。
本当にありがとうございました。
〈弱いから迷いがあるから一生懸命〉
（制作ラボ：㈱アートカラーラボ）

銅賞

「ウサちゃんと一緒」　東畑達也　㈲トーハタ写真館 Laluce（静岡）

データ：デジタル一眼レフ　85mm　F5.6　1/120　ストロボ

■選評

「Simple is Best」で、余計な物は取り払って、このお子さんに対して真正面から素直に撮っているところにこの写真の魅力があります。七五三写真は、笑わせたり動いてもらったりして撮るケースがほとんどですが、この写真では笑うことなく「きょとん」とした表情の中の大きい瞳が効果的に見る者に訴えかけます。ポイントはうさぎのぬいぐるみで、可愛い持たせ方と耳の部分が口元に重なって、大きく可愛い瞳がより強調されて、素直さが表現されています。ライティングも最適で、とくにヘアーライトが綺麗で、暗いバックと相まって立体感が表現されています。

■喜びの声

このたびは、栄誉ある富士フイルム営業写真コンテストの銅賞をいただき、誠にありがとうございます。
２年連続で憧れの帝国ホテルでの表彰式の場に立てることが本当に光栄です。うれしさと感謝の気持ちでいっぱいです。
もっと写真が上手くなりたい！もっとお客様の喜ぶ顔が見たい！そのために本気で勉強しようと覚悟を決めスタジオ撮影を始めた８年前から、本当に多くの素晴らしい出会いに恵まれてきました。たくさんの気付きや学びで導き続けてくださる先生、諸先輩方。最高に楽しい時間の中で切磋琢磨しあえるチームトリカワチップスと静岡県写真館協会青年部の皆、ＰＧＣの仲間たち。いつも綺麗なプリントに仕上げてくださるプロカラーラボ様。ご縁ある全ての皆様に心より感謝申し上げます。
今回入賞させていただいた写真は、とっても恥ずかしがり屋さんで、ちょっぴり人見知りな可愛い３歳の女の子です。少しずつ近づいて様子を見ていると、ちょこちょこと動き回っておもちゃを手に取り、ふと見せる仕草や表情がとても可愛いらしく、笑顔だけでなくそのままの姿と表情から彼女の内側からくる感情も一緒に写し込めたらと思い、シャッターを切りました。
これからも当館にお越しいただくお客様に写真を通して幸せと感動を届けられるよう、全力を尽くし、さらに高みを目指して精進し続けてまいります。このたびは、本当にありがとうございました。すべての出会いに感謝です！
（制作ラボ：㈱プロカラーラボ）

銅賞

「雅輝くとき」　西岡 亮　MERRY LaRaLa...Photo Studio（三重）

データ：デジタル一眼レフ　70～200mm　F2.8　1/80　ストロボ+自然光

■選評

品格のある婚礼写真です。こうした和装写真は、伝統文化を美しく品良く継承していくという部分で失ってはいけない写真といえます。この写真では、綺麗な振付けはもちろん、ライティングも自然光中心ながらも補助的にストロボを使用しハイライトを立てて、顔に程良い綺麗な立体感を出しています。バックもアンバー調を表現するためにシャッタースピードを調整しているほか、カメラアングルを高めにしていることと、床に当たっているまだら模様の自然光で奥行き感を強調するなど、計算しながら和装写真の形を作っています。単純な型ものではなく、型ものを進化させた写真といえ、高い技術力が感じられます。

■喜びの声

結果発表を見たとき、隣りで息子が飛び跳ねて喜んでくれました。
栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。
昨年から、上位入賞をいただけたら家族皆で東京へ行こうね。と、冗談交じりで話していましたが、まさかこんなに早く叶うとは思ってもいませんでした。
入賞をいただけたのはお客様、お取引先様、ラボネットワーク様、業界の先輩と仲間たち、そして家族のお陰です。『フジコン出したか？』が口癖だった父も喜んでくれていると思います。
こちらの写真撮影は自然光がメインですが低い位置からの外光なので上半身へのライトを補うためにフィルライト気味にコメットのスピードボックスで当てています。振付けを母が、撮影を私がしたので親子で受賞をいただけた気持ちでいます。撮影打ち合わせのときから魅力に溢れたお嫁さんだと感じていましたが被写体に恵まれたこともとてもラッキーでした。新郎新婦とご家族の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。
メリーラララフォトスタジオを選んでいただけるお客様へ、質の高い写真を提供できるように、これからも『富士フイルム営業写真コンテスト』へ応募し、自分の写真と全国から集まる上質な作品と照らし合わせながら自分のレベルを理解し、技術力をもっと高めていけるように精進します。そしてまた、家族一緒に東京へ。帝国ホテル様へ来られるように頑張ります。
このたびは本当にありがとうございました！
（制作ラボ：㈱ラボネットワーク）

銅賞

「私のくまちゃん」　フィスティク マーガレット　coco b. sweet（京都）

データ：ミラーレス　56mm　F1.2　1/500　自然光

■選評

「可愛い」の一言に尽きるニューボーン写真です。小物を上手に演出してその可愛らしさを増幅させ、肌色の再現、バックとのカラーハーモニー等、優れたテクニックを感じます。ニューボーンという撮影スタイルは、欧米の方が進んでいて、それなりの専門家や演出家もいるなかで出来上がってきた文化です。日本でもニーズの高まりがあるので、これからの柱になる可能性もあり、挑戦していきたい分野の1つです。ただ、安易にやるのではなく、しっかりとした技術を得た上で、プロとして挑戦してほしいと思います。この写真はそうした技術の裏付けがあって撮られている写真であり、レタッチを含めてプロならではの作品に仕上げられています。

■喜びの声

このたびは、富士フイルム営業写真コンテストという非常に栄えある賞にニューボーンフォトというまだまだ日本では認知度の低いジャンルの写真で上位入賞できて、本当にうれしく思っています。私自身、約9年前からこのニューボーンフォトという分野に特化して、プロフォトグラファーとしての撮影を続けてきましたが、近年ではニューボーンフォトを日本にもっと広める活動にも携わってきています。今回の受賞が、私自身にとって非常に誇りある功績となるのはもちろんのことなのですが、少しでもたくさんの人にニューボーンフォトを知ってもらうきっかけになったり、私と同じプロのフォトグラファーの道を目指す方、特に出産・子育てをするママさんがプロとして働くきっかけになったりすれば素敵だなと心から願っています。
また、私のような日本で活躍している海外出身のフォトグラファーにも、このような貴重な賞をくださった富士フイルムさんにとても感謝しています。富士フイルムさんとは、フォトグラファー向けのセミナーやニューボーンフォトグラファーのイベント等で色々とお付き合いをさせていただいており、それがきっかけで私自身も富士フイルムの魅力に惹かれ、プリント商品やカメラ・レンズなども日ごろから愛用させていただいております。ニューボーンフォトとともに、富士フイルムさんの今後のますますの発展をお祈りしています。
（制作ラボ：㈱トミカラー）

銅賞

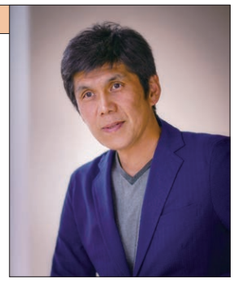
「父の仕事を継いだ姉妹」　内原誠美　写真のウチハラ（奈良）

データ：デジタル一眼レフ　85mm　F13　1/200　ストロボ

■選評

タイトル通り、この姉妹のドラマを上手く表現した写真です。本物の鶏と卵をスタジオに持ち込んで撮影していることに驚きましたが、それによって臨場感が表現されています。若い方が親の仕事を引き継ぐのは大変なことですが、それを明るく、姉妹で一緒に頑張ろうという心が写し出され、好感が持てる写真になっています。コスチュームに合わせたバックの選択も最適で、明るさを助長しています。職業写真というジャンルがあるように、スタジオに道具を持ち込んでもらって、カジュアルに仕事の写真を撮るという新しいメニューがあっても良いと思います。そうした提案をしてくれるような写真です。

■喜びの声



富田先生とうとう上位入賞しました。
このたびは、栄えある富士フイルム営業写真コンテストの銅賞をいただきまして誠にありがとうございます。いつかは帝国ホテルでの表彰式に参加することを目標にしてきましたが、とうとう目標を達成することができてうれしさでいっぱいです。
受賞写真は、お父様が経営する養鶏場の仕事を継いだ姉妹さんで、商品の販売促進用で店頭に飾る写真を撮影した１シーンです。
撮影に入る前によくお客様の話を聞き会話をしてこの姉妹さんに敬意を抱きました。
お二人は希望の職業を得て都会で充実した日々を送っていましたが、お父様が病気になったのをきっかけに、仕事を退職され実家の仕事を継ぐ決意をされたのです。そんな話を聞きながら、会話の中で感じた仕草や動きを大切にして、健康的で明るい姉妹を表現しました。
今回銅賞を受賞できたのも、私に写真の基礎と人としての生き方を教えてくださった故・滝不二樹先生、公私共にご指導いただいています富田豊先生、川地清広先生、「写真の良さを伝える会」の皆様、「かつみ会」の皆様、諸先輩、業界の友人たち、いつも丁寧な仕事をしてくださっているアートカラーラボの皆様、いつも私の助手をしてくれる母と妻そして子供たち、多くのご縁のある方々に感謝いたします。
これからもお客様の期待以上の写真が創れるよう、その人、その家族が写せるように精進していきたいと思います。
最後に、長年このコンテストを続けてくださる富士フイルム様、本当にありがとうございます。（制作ラボ：㈱アートカラーラボ）

銅賞

「頑張れ．未来のナース．」　湯本千晴　ユモトカラースタジオ（徳島）

データ：デジタル一眼レフ　100mm　F2　1/200　ストロボ

■選評

卒業式での写真ですが、優しく柔らかく、とても綺麗な光を作っていることが印象的です。白の清潔感が出ていて、同期で卒業するという仲良し感、人間関係も表現され、爽やかで初々しい写真となっています。この３人の主役を強調するために、シャッタースピードを巧妙に調整してバックを落とし、さらに最適なボケ味で主役を浮かび上がらせているところにプロの技量を感じます。また、卒業証書に角度を持たせていることで、程良いレフ板効果で顔に綺麗な光が当たっていて、明るいイメージを強くしています。画面下の落とし方も最適で、自然に綺麗な肌の３人に目が行くように誘導されていて、さりげない中でもプロの腕が光る写真になっています。

■喜びの声

このたびは素晴らしい賞をいただきましてありがとうございます。祖父母・両親の時代からユモトカラースタジオを大切にしてくださるワントゥワンの小林様、岡本様をはじめ皆様方、いつも美しいプリントを仕上げてくださるプロカラーラボ様に感謝申し上げます。
まさか自分が入賞できると思っておらず、正直なところ、うれしさよりも戸惑いのほうが大きく、これからのカメラマン人生へのプレッシャーを感じております。
受賞作品は、日頃からお世話になっている地元の看護学校様の卒業アルバムのお仕事で撮影させていただいた写真です。学校にお邪魔すると、いつも笑顔で先生方が迎えてくださり、業者としてではなく人として接してくれるあたたかい場所で、日々の対応に感謝しています。卒業式の終了後に生徒さんに声をかけ、背景と生徒さんの立つ距離、被写体の顔にあたる光を考えながら撮影した一枚です。
学校撮影を任されることの多い私は、生徒さんのいい表情を撮影することを念頭に置いて、声掛けの内容に工夫し、日頃から生徒様と近い距離でいられるように努力しています。
まだまだ未熟な私ですが、お客様に信頼していただけるカメラマンになるために、背伸びすることなく自分自身と向き合い、写真の知識・技術の勉強に励み、楽しく元気に仕事をしたいと思っています。これからもよろしくお願いします。
（制作ラボ：㈱プロカラーラボ）

銅賞

「バレエ教室」　重松洋介　㈱写真のトクダ（福岡）

データ：ミラーレス　16～55mm　F6.4　1/60　ストロボ+自然光

■選評

透き通ったイメージの、可愛らしい、子供らしい写真といえます。強いバックライトを上手く使用して肌の質感を効果的に表現し、白に包まれた優しい光の中で子供たちの純粋さ、素直さを表現しており、表情もそれぞれの個性が引き出されています。衣装もパステルカラーでまとめていますが、先頭の小さな子と色の濃いコスチュームを着ている子がアクセントとなり、さらには頭の位置は同じで、足元を斜め一直線にしていることで遠近感もあり、種々の面で計算された技術力が見えます。楽しそうな雰囲気を、眩しく輝くような白の中で表現しているところにこの写真の魅力があります。

■喜びの声

このたびは、栄誉ある富士フイルム営業写真コンテストの銅賞をいただきありがとうございます。
目標の一つとしてこれまで目指していた上位入賞という念願を果たすことができ、本当にうれしく思います。
この発表があった瞬間本当に「えっ！！」と驚き、しばらく信じられませんでした。
今回の写真はいつも撮影に来ていただいているバレエ教室の子供たちで、元気いっぱいに撮影を行い、自然と笑顔と笑い声の絶えない撮影現場です。普段この人数でこの場所を使うことはあまりないのですが、今回はいつも来ていただいているので、少し変化をと思い撮影しました。ライティングなどは背景をスクリーン越しに自然光を入れて、補助光によって人物を出したもので、そんなに難しく考えていません。今回の撮影でよかった点は、撮影時いつも一緒にスタジオをやっている、もう一人のカメラマンとスタッフで楽しい雰囲気が作れたことが良かったのではと思っています。これからも撮影の際に楽しい現場を作れるように頑張っていきます。
最後に今回撮影させてもらったバレエ教室の子供たちと先生、写真館とは無縁の僕に写真のことを教えてくださった、師匠の重岡富美雄さん、道に迷ったときに、温かく受け入れてくださった写真のトクダの徳田会長、そしてスタッフの皆さん、写真について熱心に情熱をもって教えてくださった、修平塾塾長の小﨑修平さん、ラボの皆さん、僕をいつも支えてくれた家族のみんなに感謝いたします。
これからも、お客様に喜んでいただける写真を撮り続け、また一つでも上の入賞ができるように精進していきます。
（制作ラボ：富士フイルムイメージングシステムズ㈱）

審査員特別賞

「the day of New York」　木下 令　Decollte photography（兵庫）

データ：デジタル一眼レフ　　アルバム

■選評

ニューヨークで撮影されたウエディングアルバムですが、ドキュメンタリーに近い撮り方ながらも、１枚１枚の写真の質が高く、お洒落なアルバムに仕上げられています。「作者はニューヨークに住んでいるのではないか」と思わせるほど、場所を知りながら撮っており、事前の準備をしっかりしていないと撮れない写真です。このアルバムを見ていると、一緒にニューヨークを散歩しているかのような印象を持つほど情景描写が素晴らしいといえます。また、映画のようなシーンも出てきて、場面ごとのイメージ写真も上手く、カメラマンの感性、ものの見方、気付き方には「これぞプロの仕事」と思わせるほど素晴らしいものです。

■喜びの声

このたびは素敵な賞に選出いただき、誠にありがとうございます。
思ってもなかったことですので、戸惑い半分喜び半分の何とも言えない気持ちです。
本当にありがとうございます。
今回のアルバムは、お客様の中でも特に印象に残っているお客様のアルバムでエントリーさせてもらいました。
撮影したのはニューヨークです。
今回は1ヶ月近く滞在していたときの、帰国前、最後のお客様でした。
この日は久しぶりに良い天気で、朝日がとてもキレイな日でした。
また撮影の終盤には、お嫁さんがお腹が減りすぎて言葉数が減ってきたのですが、撮影終了後の食べっぷりにみんなで爆笑したのを思い出します。
これはアルバムには写っていませんが、私たちスタッフと、お２人はきっとこのアルバムを見ることでいつでも鮮明に蘇る思い出になりました。
この賞をいただいたとき、まずはじめに知らせたのも写真に写るお２人でした。
とっても喜んでくださいました。
彼らが私を選んでくださったので、このアルバムがあり、この賞をいただくことができました。
お２人のおかげでいただけた賞です。

このたびは本当にありがとうございました。
（制作ラボ：㈱ラボネットワーク）

優秀賞

「成人ダンディー！」　矢吹尚也
㈲矢吹写真館（北海道）

データ：デジタル一眼レフ　85mm　F4　1/125
ストロボ

「振袖モダン」　ウジイ ユタカ
ウジイフォトスタイル（山形）

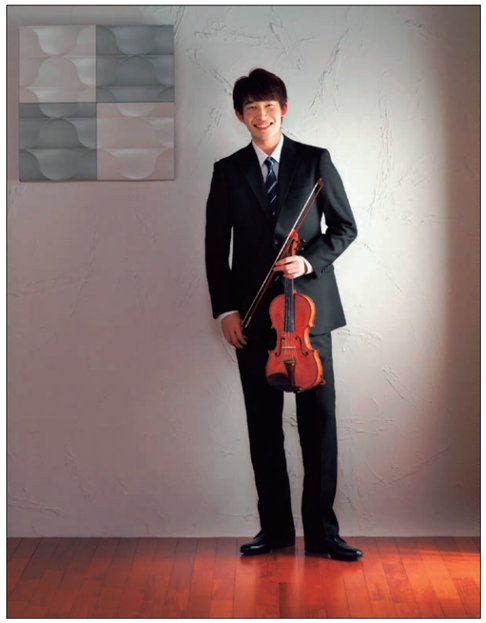
データ：ミラーレス　50mm　F2.8　1/250　ストロボ

「結婚記念日に」　渡辺和志　㈱白いアトリエ（福島）

データ：デジタル一眼レフ　70～200mm　F2.8
1/500　自然光

「凛として」　柳 祥平　㈱小貫写真館（茨城）

データ：デジタル一眼レフ　70～200mm　F2.8
1/320　自然光



「20歳の今」　大井 大
フォトグラフィック オオイ（神奈川）

データ：デジタル一眼レフ　85mm　F4　1/125
ストロボ

「AOI」　齋藤 明　㈱スタジオ・サイトー（山形）

データ：デジタル一眼レフ　F2.5～5.6　1/125～1/400
ストロボ　ストロボ+自然光　自然光

アルバム

優秀賞

「幼稚園って楽しいね」　大西邦夫
㈲スタジオ・クニ（愛知）

データ：デジタル一眼レフ　24～70mm　F7.1
1/125　ストロボ

「あっはっぴーにゅういやぁ～」　長谷川久代
フォトスタジオシミズ（大阪）

データ：デジタル一眼レフ　24～70mm　F2.8
1/125　ストロボ

「もうすぐ卒業」　赤井大司　あかい写真館（和歌山）

データ：デジタル一眼レフ　85mm　F2.0　1/200
ストロボ+自然光

「パパ だ～い好き」　安部宣秀　安部写真館（福岡）

データ：デジタル一眼レフ　24～70mm　F8
1/125　ストロボ

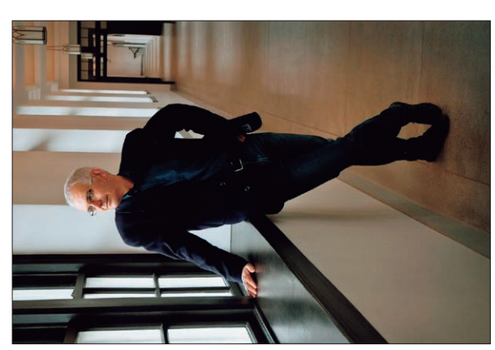
テーマ写真 大人ポートレート写真

「nice guy！」

古宮清秀　㈲チバ写真（千葉）

「紳士作家 ポルテル氏」

ヤナセセイジロー　ヤナセ写真館（埼玉）



「大口あけるプロフィール」

朝風唐子　あさかぜ写真館（北海道）

「ハロウィンメイク」

森藤ヒサシ　BLISS（東京）

「妊娠中の素っぴん」

KURBANOV EVGENIY　Chepolinko（東京）

「夢を調理中」

竹川高樹　松山写真館（静岡）

「青年」

大庭学　大庭写真館（静岡）

「懐い」

島瀬航　シマセ写真館（富山）

「フープで風を感じる」

樋村栄一　樋村写真スタジオ（東京）

「いまどき」

梅村俊司　梅村写真館（東京）

「Mr.タンバリン」

島田健太郎　スミレ写真館（奈良）

「視線」

阿部 学　あべ写真館（岡山）

「S」

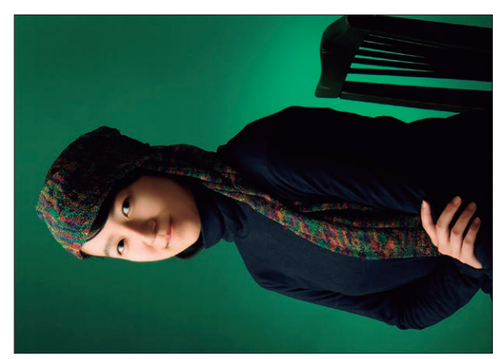
森 一生　pashanova（愛知）

「K君」

滝 篤史　㈲写真館かつみ（愛知）

「遠い記憶」

神澤藤沙史　フォトスタジオぱれっと（滋賀）



「私の知らない私」

内田迎吾　㈲ウチダ写真館（大分）

「チレサ」

児島大志郎　㈲児島写真館（鹿児島）

「作曲家J氏」

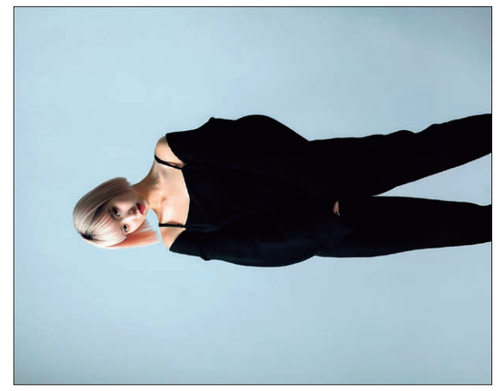
東 邦定　スタジオエース（沖縄）

「MILKY WAY」

芦谷茂樹　Kiiimon（キーモン）（島根）

「Rin」

佐々木泰渡　ベルマリア（福岡）



「家族っていいネ!」

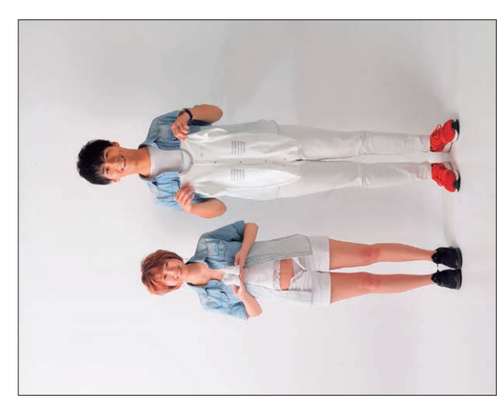
岡村 匡　㈲岡村写真工房ビレッジ（北海道）

「孫たちと」

中村素縁　㈲ナカムラ写真館（宮城）

「おそろいコーデ」

佐久間 剛　㈱小倉写真館（茨城）



「笑顔」

角田一利　角田写真館（群馬）

「初夏の日」

高野 優　王川高島屋写真館（東京）

「素敵な親子ですね」

平井宣孝　㈲平井写真館（神奈川）

「2019冬 姉妹にて」

向山みさき　㈲平沢写真館（長野）

「大きくなぁ〜れ」

根津賢二　㈲ネギシスタジオ（富山）

「お兄ちゃんと」

松村賢治　まつむらフォトスタジオ（神奈川）

「Happy Maternity」

金子貴人　スタジオパセラ 横浜関内店（神奈川）

「やさしいまなざし」

大西真人　㈲スタジオ・クニ（愛知）

「だかっ だかーっ」

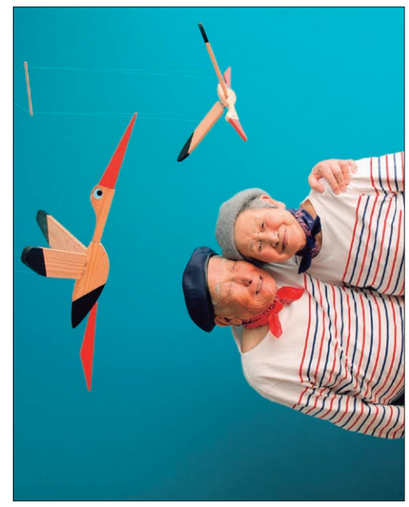
田内光紘　㈲清水写真館（静岡）

「西潟家 2018」

根岸春之　㈲ネギシスタジオ（富山）

「大阪円満が元気の秘訣!!」

渡辺都家　㈱Decolite Photography Studio Tvb（大阪）



「優しい気持ち」

末廣佑美　㈲スタジオ・クニ（愛知）

「大好きなお父さんと」

吉田茂隆　吉田茂隆写真館（宮崎）

「父になる・・・」

上林弘明　杉田写真館 大橋ガーデンスタジオ（福岡）

「美川平野にて」

崎野裕　㈲スタジオ・ナウ（島根）

「家族一家」

仲濱喜弥　㈲日光写真館（沖縄）

「田代ファミリー」

塩屋大輔　写真のシオヤ（鹿児島）

「ころころボックル？」

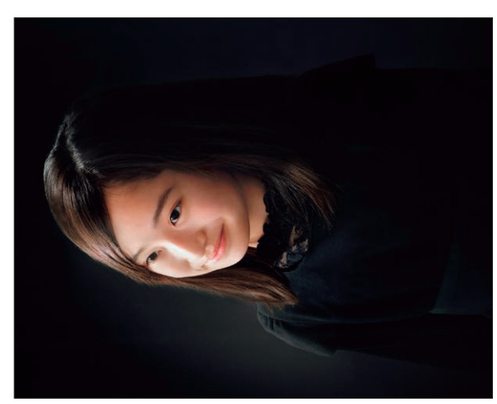
佐藤公哉　㈲佐藤写真館（北海道）

「パパ、離さないで」

齋藤千恵　㈱スタジオ・サイトー（山形）

「おすまし」

寺田大三　柏高島屋写真館（千葉）



「Smile」

吉田利正　㈲吉田写真館（茨城）

「うまれてきてくれてありがとう」

飯田聡子　フォトピア（東京）

「初めての笑顔」

Tsoy Alina　Chepolinko（東京）

「花かごを見る少女」

稲次寛　クッキーナッツ・スタジオ㈱（神奈川）

「少年 マキール」

杉山彩子　㈲杉山スタジオ（鹿児島）

「Beautiful Doll」

柴坂さき　㈱H.office（東京）

「青春の眼差し」

吉川貴宏　やまざき写真館（鹿児島）

テーマ賞 子供写真

「オレたち最強兄弟！」
山下顕優　スタジオクレアーレ（京都）

「2歳になったんだ」
浅田秀之　アサダ写真舘（兵庫）

「バレリーナ」
平岡義弘　㈲平岡写真館（広島）

「あの夏の仲間」
市橋弘行　わかば写真館（岐阜）

「笑顔」
湯本一生　ユモトカラースタジオ（徳島）

「おシャレな姉妹」
太田順二　すみれ写真館（佐賀）

「負けないぞっ!!」
橘薗正恵　めぐみ写真館（鹿児島）

「パンダ組のみんな」
本山稔彦　㈱写真のトクダ（福岡）

「マヨラー」
宮﨑崇弘　みやこ写真（福岡）

「みゆちゃん」
矢上弘幸　㈲矢上写真館（鹿児島）

テーマ賞 入卒園・入卒学・七五三写真

「仲良く七五三」
須藤一朗　ストウ写真館（青森）

「七五三」
渋谷知宏　シブヤスタジオ（秋田）

「ウキウキ入園」
佐直和春　㈲佐直写真館（山形）

「卒業夏服」
内田雅之　㈲内田写真館（栃木）

「入学おめでとう」
名取真樹子　恵比寿三越伊勢丹写真室アレーズ（東京）

「頼れるお姉ちゃん」
宮本美幸　GUV PHOTOGRAPH（福井）

「トリッキー」
林隆昌　㈲スタジオイマージュ（岐阜）

「想い」
岩城丈　伊勢丹写真室 新宿店（東京）

「卒業」
長谷川和男　アニバーサリー㈱長谷川写真館（新潟）

「おしゃれなスーツで」
水谷友里恵　㈲スタジオ・クニ（愛知）

テーマ賞 入卒園・入卒学・七五三写真

「成長」

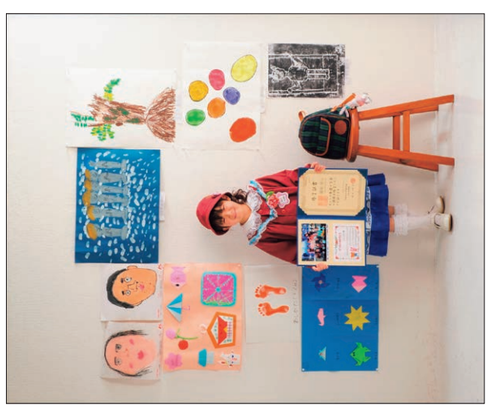
河田年弘　スタジオエミュ（兵庫）

「卒業しました～」

永原正行　ながはら写真館（大阪）

「私の作品と」

宇田喜太郎　㈲宇田写楽館（三重）



「バンチ」

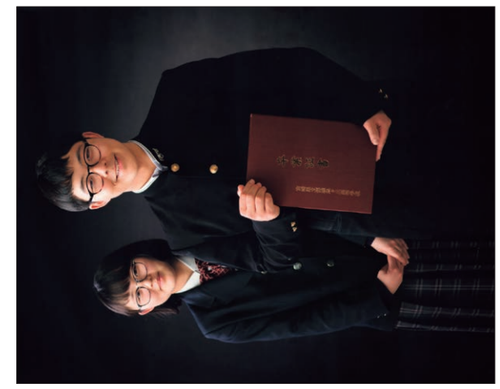
菊地剛史　㈱ちかま写真館（福岡）

「友情はこれからも」

因幡明弘　㈱イナバ写真館（福岡）

「兄の卒業記念」

矢上敬一　矢上写真館 都城店（宮崎）



「卒業」

尾崎友久　独立軒写場（宮崎）

「元気いっぱい」

秋山義行　㈲内倉写真館（宮崎）

「僕の七五三」

野田エイタロウ
小さな写真館 ABCスタジオ 太宰府（福岡）

「七五三」

荒木慎弥　はっぴぃ写真館（福岡）

「家族」

大町利夫　大町写真館（群馬）

「これから一緒に。」

武藤秀英　㈲秩父写真館（埼玉）

「二十歳の想い」

加藤孝男　柏高原写真館（千葉）

「小学からのいつメン！」

山口大郎　㈲山口写真（埼玉）

「私、スタイル」

石毛良二　ハートフルスタジオイシゲ写真（千葉）

「カミヤトンダドレス」

橋本真司　㈱佐藤写真（東京）

「Good-bye my loneliness」

森 正光　スタジオアクア渋谷店（東京）

「雅びやかに」

水口淳子　スタジオ・イシフレスノーブルスクエア店（新潟）

「夫婦」

下國啓祐　studio TVB（大阪）

「二人の一成人式」

長尾総理
㈱Decollte Photography HAPISTA 堺北谷園店（大阪）

テーマ賞 成人式・婚礼写真

「成人の春」
湯本和子　ユモトカラースタジオ（徳島）

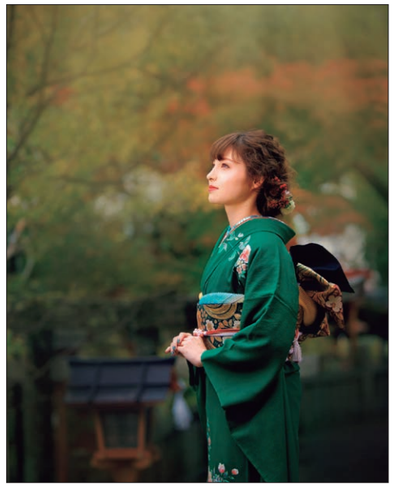
「はたち」
上野優子　上野写真館（徳島）

「ロイヤル ウェディング」
栗林享代　㈲グラフ（愛媛）

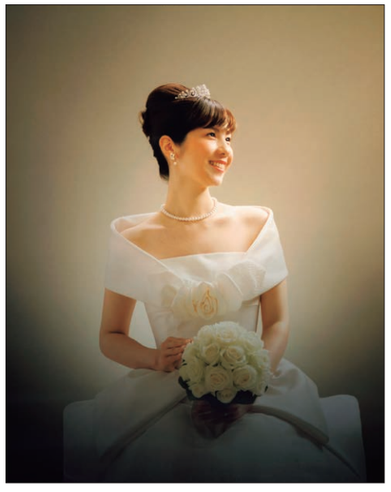
「空と海の狭間で」
樫谷誠人　マリアージュ コトブキ（香川）

「華燭」
廣田不二夫　ひろた写真館（愛媛）

「しあわせ」
谷崎栄一　㈱ヤヨイ写真館（愛媛）



「二十歳の想い」
丸山健太郎　松竹写真館（愛媛）



「ジューンブライド」
鶴田一雄　ホテルオークラ福岡写真室㈱杉田写真館（福岡）

「じゅーんぶらいど」
平川憲一郎　杉田写真館（福岡）

「ハタチの日」
簑田憲明　㈲フジ写真館（熊本）

テーマ賞 ロケーション・スナップ

「ザ職人」
元藤将吾　アトリエShogo（千葉）

「木漏れ日の中で」
トミタ イサオ　㈲トミタスタジオ（東京）

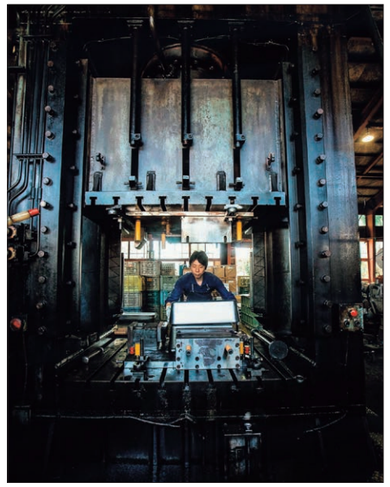
「日野小学校卒業生」
丸山 玄　㈲丸山写真館（長野）

「おめでとう!!」
下宮伸一　shimomiya photo office（長野）

「お気に入りの場所で」
高橋祐宇　ハートスタジオ北陸店（石川）

「ふたりの世界」
日高 優
㈱Decolite Photography Studio Tvb（大阪）

「降雪の洞川温泉」
三澤陽輔　スタジオTVB 奈良店（奈良）



「燕三条の職人」
薄田和輝　フォトスタジオ ウスタ（新潟）

「これから二人で」
天野有祐　天野写真室 ETHOS photograph（愛知）

「自分らしく」
河野剛氏　㈱リバーズ（滋賀）

テーマ賞 ロケーション・スナップ

「世界遺産 熊野本宮大社にて」
亀田俊太郎 フジノ写真館 studio Fourth（和歌山）

「家族と」
笹原 剛 ㈲堀尾写真館（愛媛）

「雅」
福島隆二 ㈱杉田写真館 ホテル日航熊本写真室（熊本）

「Seventeen」
篠原隆浩 ㈱ヤヨイ写真館（愛媛）

「未来」
中島了一 神宮写真館（宮崎）

「夏夕の思い出に」
吉田舟邦 吉田写真館（熊本）

「なかよし」
松尾勝彦 写真の松屋（福岡）

「受け継がれる歴史」
尾崎 積 独立軒写場（宮崎）

「前田ファミリー」
齊藤真也 斉藤写真館（佐賀）

「桜満開」
松本隆夫 写真の七光（熊本）

2019 富士フイルム営業写真コンテスト
金賞作家を訪ねて……茨城県水戸市　小貫写真館パセオヌエボ　川又康徳さん

教えてもらったことを自分なりに昇華……それが金賞に結実

「発表のときが休日で、同僚の仲の良いカメラマンから金賞受賞と聞いて『冗談でしょ』と信じていませんでしたが、午後になってネットを見て自分が金賞であることを知り、驚きました。社長からも『おめでとう』と声を掛けられましたが、まさか自分が……となかなか実感が持てませんでした」と語るのは、2019 年富士フイルム営業写真コンテスト金賞受賞者の川又康徳さんです。

川又さんが勤務する茨城県・小貫写真館パセオヌエボは、明治25 年創業の老舗で、現在は本店の水戸店と支店のつくば店で営業展開しています。老舗というと、どうしても「古い」というイメージが先行しそうですが、4 代目の現社長・小貫久史氏によって2000 年に現在の地に本店を移転、アメリカ・サンタバーバラのスペイン風の街並みをイメージしてデザインされたという斬新でお洒落な店舗で、館内どこでも撮影可能なオールロケーションスタジオとなっています。

また、外観がお洒落なだけでなく、写真そのものも品質レベルが高く、今回の川又さんの金賞受賞以前に、社長の小貫久史氏が2013 年に金賞受賞しているほか、今回の2019 年においてもつくば店の根本昌幸さんが銀賞受賞、柳祥平さんが優秀賞を受賞（以前にフロンティア賞も受賞）するなど、カメラマン全員が高い技術力を持っていることが実証されています。現社長の小貫氏の、写真に対する熱い思いが社員に伝承されているといえます。

アメリカ・サンタバーバラのスペイン風の街並みをイメージした店舗デザイン

写真の経験がなく ゼロからのスタート

そのなかの1 人が川又さんで、同スタジオに入社して9 年目、35 歳の若手カメラマンです。大学を卒業して東京都内の紳士服の店で働いていましたが、26 歳の時、御尊父の健康状態の悪化により、地元茨城県に戻っています。そして再就職先探しとなりましたが、この時に「写真」という字は全くなく「綺麗なところで仕事がしたい」という思いだけだったそうです。当初、ブライダル関連の仕事を探したそうですが、そのなかに「写真」の仕事があり「写真を撮る仕事って素敵だな、やってみたい」という思いが強くなり、写真スタジオに絞って就職先を探し、第一社目が小

川又康徳さん（右）と小貫社長

貫写真館パセオヌエボだったのです。「お店がお洒落で綺麗で、小貫社長の考え方にも深く感銘を受け、後日『当スタジオで働きませんか』とのご返事をいただきましたので、二つ返事で入社させていただくことになりました」と川又さん。

2010 年、26 歳で入社し、カメラマンのアシスタントとしての仕事が始まりました。とはいえ、それまで写真の経験がなく、全くのゼロからのスタートですので、当初は、あたふたする日々が続いたそうです。ややもすると「空気」のような存在になってしまいがちになることから、自ら進んで機材のことを勉強したり、とにかく意欲的に撮影に関する知識を習得していきました。

店内もお洒落な雰囲気に包まれて

社員全員でスキルアップを目指す

そして撮影を覚える転機となったのが、2012 年につくば店に行くことになって、そこで今回銀賞を受賞した根本昌幸さんに撮影のイロハを教わったことでした。「素人でも分かりやすい教え方をしていただき、つくば店にはトータルで3 年ほどいましたが、撮影の難しさや自分で作り上げるという満足感、楽しさなど全てを教えていただきました」と話しています。

その先輩である根本さんが富士フイルム営業写真コンテストを重要視していたことから、川又さん自身も「このコンテストは撮影技術を学べる機会でしたので、上位入賞は目標でしたし、今の自分がどのレベルにあるかを知るきっかけにもなりました」と。目標としていたことが、2015 年のフロンティア賞受賞で芽吹き、そして今回の金賞という形に結実したのです。

写真業界に入って9 年目という短い期間で金賞に輝いた背景には、本人の努力はもちろんのことですが、置かれた環境が良かったということも挙げられます。技術面でトップに小貫社長がいて、川又さんはその教えを根本さん、柳さんを通して教わる、といった構図です。

また、その技術向上の風潮は、全社的な取り組みの一つであり、カメラマンが撮影した写真はその日の内に9 カットずつ選び、ネットを介して社員全員が見て意見を出し合うそうです。社内的に、写真を見てスキルアップしていくという流れができているのです。

あらゆる空間が背景に…
オールロケーションスタジオ

写真館の枠を超えた撮影法を学び 表現力が広がって……

さらに、小貫社長が主宰しているポートレート実践コースというプロ写真家が受講するテクニック講座があり、川又さんはそれにもスタッフとして参加しながら、受講生と一緒になって勉強したそうで、それもステップアップの大きな要素になりました。1 クールで4 ～ 5 回撮影実践、それを4 クール受講しています。

「その講座では、写真館の枠を超えた自由な発想での撮影法を学び、表現の幅の広がりという面でとても勉強になりました」と川又さんが話すように、実際に撮影するのは写真館スタイルだとしても、表現の引き出しが増えたことが大きいと語っています。

このように、教えてもらう環境が整っていたわけですが、ただ単に一方的に教わるだけでは金賞に結びつきません。教わったことを吸収し、そして自分なりに昇華させていかなければなりませんが、川又さんの場合はそこに努力を惜しまなかったことが実を結んだといえます。

「今、カメラのスペックが上がってきて、アマチュアでも良い写真を撮る時代のなかで、プロとしての存在意義が問われます。撮るのはカメラ等機材ではなく、人（プロ）ですので、私たちは、パフォーマンス、エンターティナー性を交えながら、お客様が満足、感動、そして喜んでいただく写真を撮っていく必要があります。それを目標に今後も勉強を続けていきたいと思っています」。今回の金賞受賞に驕ることなく、これからも謙虚な姿勢でスキルアップを目指す川又さん。今後のさらなる飛躍に期待します。

日頃の努力と技術・感性の向上意欲でレベルアップ

2019富士フイルム営業写真コンテスト表彰式、盛大に開催

営業写真の質的向上と業界発展に寄与することを目的に開催されてきた富士フイルム営業写真コンテストは、半世紀を超える歴史を経て、営業写真市場のなかで最大規模を誇るコンテストへと成長を遂げてきました。

56回目を迎える今回も、毎年恒例となった「2019富士フイルム営業写真コンテスト表彰式」を9月11日、東京・日比谷の帝国ホテルで開催、上位入賞者ならびに入賞作品制作ラボが参集しました。

表彰式の冒頭、富士フイルム株式会社の助野社長は次のように挨拶しました。

「本日は、上位入賞、おめでとうございます。皆様方の日頃のたゆまぬ努力と、技術・感性の向上意欲の成果がここに表れたものと敬意を表します。このコンテストは、写真館で撮る写真の価値を高め、お客様に喜んでいただける営業写真を作るために技術研鑽の場ということで昭和35年からスタートしました。今回、56回目を迎えるわけですが、全国の写真館・フォトグラファーの皆様から9,100点を超えるたくさんのご応募をいただきました。特に今年は写真館以外のフリーカメラマンの方々の応募も増え、従来にはない新しい写真表現に取り組まれた作品も多く、また、写真館からの応募作品も時代を引っ張る営業写真を作っていこうとする皆様の強い意志が感じられました。

私共富士フイルムは、1934年以来、写真文化の普及・発展に取り組んでまいりました。写真はいつの時代においても大切な思い出や記録として人生に不可欠なものであり、見る人を幸せにさせ、感動を呼び起こすことができるものであります。これからも写真の価値を追求し、業界の発展に寄与できるようにメーカーとして取り組んでいきます。

最後に、このたび上位入賞を果たされた皆様、今後も素晴らしい写真を撮影いただき多くの人に感動と喜びを与え、そしていつまでもお客様に親しまれる写真を撮り続けていかれることを期待します」

富士フイルム株式会社
代表取締役・COO
助野 健児

富士フイルム株式会社
イメージング事業部長
宮﨑　剛

ニーズの変化に対して新しい撮影方法も

この後、富士フイルムイメージングシステムズ株式会社の西村社長によりコンテストの経過報告が行われました。

「応募作品の全体傾向として『大人ポートレート写真』と『家族写真』の部では、写真館ならではの迫力ある力作が目を引きました。そして、最近の若いお客様の撮影ニーズの変化に対応して、新しい撮影方法に挑戦されている方も多く見られました。

さて、各テーマごとの作品の傾向について報告します。

『大人ポートレート写真』の部では、特別な空気感を醸し出した“プレミアムポートレート”的な写真が目を引くようになってきました。“働く姿”の写真では、働く道具やグッズをスタジオに持ち込んで、写真館ならではのライティングやカメラワークを駆使した表現が見受けられました。

また、スクール写真といえば“子供”が撮影対象でしたが、最近は“学校の先生”を廊下や教室で撮影する写真が増えてきており、スクール写真の領域の広がりを感じる写真が目を引きました。

『家族写真』の部では、真っ白な壁をバックに使ったり、おしゃれに作り込んだ立体背景を使った作品が増えてきました。また、ストロボを使わずに窓からの自然光でナチュラル感を出した作品も多く、家族でのポージングを工夫したりなど力作が多くありました。

富士フイルムイメージングシステムズ㈱
代表取締役社長・執行役員
西村　亨

『子供写真』の部では、生後2～3週間のニューボーン写真が多くなってきました。新生児を扱うデリケートな撮影なので、しっかりとした知識とノウハウ・技術を習得してから撮影いただき、安心・安全な撮影テーマに育ってほしい新規の分野です。

『入卒園・入卒学・七五三写真』の部では、グループでの卒業写真で微笑ましい、新しい感覚の写真が多くありました。特に部活動の卒業記念グループ写真は、地域の子供とのつながりが深まる撮影として、成人後の撮影機会にもつながる商材ですので、多くの写真館さまに広げていただきたいと思います。

『成人式・婚礼写真』の部では、男性成人式写真で力強さを表現する写真が多くなってきました。婚礼写真では屋外ロケ撮影が大幅に増えており、最近の若い女性の“屋外ロケ撮影ニーズ”が確実に高まっているのを感じました。

『ロケーションスナップ』の部では、フリーカメラマンからの応募が増えました。欧米で流行っている新しい撮影スタイルの写真が多く見受けられ、変化するユーザーニーズへ対応しているフォトグラファーが増えてきているのを感じました」

続いて表彰式に移り、金賞の川又康徳さん（茨城県・小貫写真館）をはじめ、上位入賞者と制作ラボに対して助野社長から賞状・賞金・記念品が手渡されました。受賞者を代表して金賞を受賞した川又さんが挨拶にたち、まずは関係者に対して感謝の言葉を述べたのち「私が写真を教わっているなかで、こんな教えがありました。『写真って毎日撮るから上手くなるわけではない。どちらかというと、階段のようにジグザグと成長していくもの。その階段の幅が大きいか小さいか、それは川又さん次第だよ』という言葉でした。果てしなく高い頂上を目指し、日々の仕事に取り組むことでお客様に満足していただける写真を提供できると信じています。この富士フイルム営業写真コンテストがあるからこそ、私たち営業写真家の技量が高められるものだと思っています。本日はありがとうございました」と述べられました。

受賞者とそのご家族の皆さん

助野社長から表彰を受ける金賞作家の川又さん

この後、全員での記念写真撮影、そして受賞パーティーが開催され、富士フイルム株式会社の宮﨑イメージング事業部長の挨拶、乾杯の発声で開宴。宴の途中、恒例となった受賞者全員による1分間スピーチも行われ、和やかな雰囲気のもとに進められ、午後7時過ぎに全てのスケジュールが終了しました。

2019富士フイルム営業写真コンテスト入賞作品発表展のご案内

東京展
2019年12月20日（金）～27日（金）
10：00～19：00（最終日は14：00まで）
富士フイルムフォトサロン／東京
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 フジフイルム スクエア 1F
TEL.（03）6271-3351

福岡展
2020年1月24日（金）～29日（水）
10：00～18：30
富士フイルムフォトサロン／福岡
〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1 富士フイルムビル 1F
TEL.（092）510-4800

名古屋展
2020年2月21日（金）～27日（木）
10：00～18：00（最終日は14：00まで）
富士フイルムフォトサロン／名古屋
〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-17 富士フイルム名古屋ビル 1F
TEL.（052）204-0830

大阪展
2020年3月20日（金）～26日（木）
10：00～19：00（最終日は14：00まで）
富士フイルムフォトサロン／大阪
〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7 メットライフ本町スクエア（旧大阪丸紅ビル）1F
TEL.（06）6205-8000

札幌展
2020年4月10日（金）～15日（水）
10：00～18：00
富士フイルムフォトサロン／札幌
〒060-0042 札幌市中央区大通西6-1 富士フイルム札幌ビル 1F
TEL.（011）241-7366

2019富士フイルム営業写真コンテスト入賞作品は富士フイルムホームページでもご覧になれます。
http://fujifilm.jp/promotion/shashinkan/contest/index.html

※本書は本コンテストに応募いただいた写真館様に、お届けさせていただきます。
※本書に掲載の写真の著作権は、各撮影者に帰属します。無断使用、無断転載は一切禁止します。

2019富士フイルム営業写真コンテスト作品集
No.187 スタジオメモ継承
発　行――令和元年12月1日
発行所――〒141－0031　東京都品川区西五反田3－6－32
富士フイルムイメージングシステムズ株式会社
富士フイルム営業写真コンテスト事務局　03(6417)3770

FUJIFILM
Value from Innovation

2019 富士フイルム営業写真コンテスト 金賞
「インスタ映え」 川又 康徳 茨城県水戸市
(株)小貫写真館 PASEO NUEVO 水戸店
作品展は12月より全国の富士フイルムフォトサロンで順次開催

写真力。

とっておきの写真をプリントに。
心に刻まれる一枚が、宝物になる。

写真はプリントしてこそ、価値がある。

単なる記録を超えて、お客様の思いや人生までも投影する写真プリントであるために。フォトグラファーが培ってきたスキルと経験を、確かな品質へと昇華させるのがプロラボサービス。銀塩プリントならではのプレミアムな輝きと存在感がここにあります。

銀塩プリントならではの色彩再現力。

印画紙に塗布されたエマルジョン(乳剤)が現像液と化学反応を起こすことで発色する銀塩プリント。1つのドットで1,670万色もの高精細な色を再現。染料や顔料を紙に吹き付けるインクジェットでは表現が難しい、自然でなめらかな階調表現を実現します。

品質の高さでフォトグラファーのニーズに応える。

富士フイルムの精神を継承し、プリントサービスの領域で高い顧客満足を叶えるのが、プロラボサービスです。撮影された画像データをプレミアムプリントマイスターが微に入り細に入り見極め、判断しながら調整し、最適なプリントに仕上げます。

フジカラープロフェッショナルペーパーを採用。

豊かな階調と自然で鮮やかな色再現こそがプロペーパーの醍醐味。高い最高濃度(D-MAX)と彩度を持ち、営業写真やコマーシャルフォトなどプロ領域の厳しい品質に対応します。多彩な面種が用意され、いずれも最高品質のプリントが得られます。

サービスの詳細はお取引先ラボにご相談ください

フォトグラファー向け
プロラボサービス